

領 収 証

6912

DATE

平成31年 3月25日 佐野市議会議員 横田 誠

様

金額 ￥74,520-

上記金額領収しました
(但し)

現 金	✓
小切手	
約 手	
振 返	
相 殺	



総合印刷・OA機器・事務用品



日本社・工場 栃木県佐野市富岡町1506-1

TEL 0289-62-21515(代)

FAX 0289-62-2153

URL: http://www.sandai.co.jp/

□さんだいビル 栃木県佐野市富岡町1506



※金額訂正及び係印無きものは無効

総合印刷 企画・デザイン・カラー印刷・カタログ
パンフレット・チラシ・ポスター・新聞
雑誌・カレンダー・コンピューター用フォーム
印刷・名刺・伝票・封筒・ハガキ・
賞状・その他

OA機器 パソコン・カラーレーザープリンター・
MFP・FAX・デジタルカラーコピー・その他

事務用品 レジスター・タイムレコーダー・スチール
家具製品・文具・印鑑・その他

領 収 書

平成30年8月22日

横田 誠 議員金額
(消費税込)1,592円

第3回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(平成30年7月5日、9日、11日報告会開催)

佐野市議会報告会運営会委員長

菅原 達



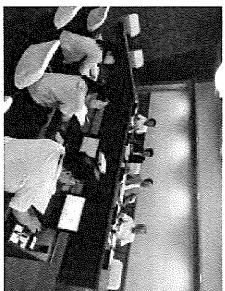
活動報告

平成30年4月～平成31年3月

個人、会派、委員会による
主な研修や視察等の活動



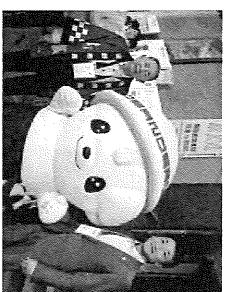
あさぬま保育園内覧会に参加



岡山市電子町内会 会派視察



函南市コミュニティFM局 委員会視察



国営ひたち海滨公園 若市議研修



日本女性会議 2018in金沢 参加

●委員長に就任

佐野市議会には現在4つの常任委員会があります。その中の総務常任委員会の委員長に就任し1年間職責を果たしてきました。総合政策部、行政経営部、会計課、消防本部、監査委員、選挙管理委員会及び公平委員会の所管に属する事項等を主たる内容とする委員会です。

■横田 誠プロフィール■
昭和51年生まれ佐野市出身。佐野市柄本町に生まれ、柄本町で育つ。家業を継ぐかたわら、佐野青年会議所、佐野市あそ商工会青年部、佐野市消防団第13分団に所属し、様々な地域活動を続ける。平成25年佐野市議会議員選挙に出馬し初当選。現在も佐野市議会議員（2期目）として活動中。

■横田誠後援会事務所■

佐野市柄本町 2331-3

TEL0283-62-1086

E-mail | makotoyo@gmail.com

Facebook <http://www.facebook.com/yokotamakotoyo>

佐野市議会議員 横田 誠
市議会レポート

○ 30年度

報告

2回定期例会開催
3回定期例会開催
4回定期例会開催

一般質問について

ようこそ佐野へ

平成30年第2回定期会 一般質問（6月7日） チェック！

入札制度と地元企業の支援制度について

Q トライアル発注制度については、地元企業の育成の観点から本市でも導入を検討すべきと思うがその見解について伺う。

※トライアル発注制度とは、地元の中小企業が開発した新製品や新技術を自治体が試験的に購入したり、良さを認定したりすることで信頼性を高め、販路拡大の支援をする制度。



トライアル発注制度は、新商品の生産や新役務の提供により新たな事業分野の開拓を図るものを見定し、随意契約による新商品や新役務の調達の機会を拡大するものでございまして、栃木県では新商品等調達・販路開拓支援事業として実施されており、これまで本市の企業の商品についても認定されたものがござります。本制度は新規性の高いすぐれた新商品など開発した中小企業者に対する支援となるものであり、今後研究していくたいと考えております。

【横田の主張】

市内業者にとっても必要なこと。その後押しする制度を市が整備し、企業の信頼性を高め販路拡大の支援を積極的に進めるべき。

☆学習指導要領改訂への対応と児童生徒の学力向上策について

平成30年第3回定期会 一般質問（9月1日） チェック！

マイナンバーカードの普及促進について



Q 行政改革大綱の実施計画に平成31年度から住民票、証明書のコンビニ交付を実施するとの記載があるが、平成31年度からコンビニ交付を実施するのか。

県内の自治体でもコンビニ交付の導入が進んでおり、本市でも31年度の導入を目指す行政改革大綱を確かに作成いたしました。マイナンバーカードの交付状況、事務処理の増加、費用対効果等の課題に対する検証が現状引き続き実施されおりまして、31度以降導入していきたいと考えております。

【他の質問】

【横田の主張】

人口減少が進む将来、市有施設の適正配置が課題となる本市で、さまざまな証明書を交付できる窓口が減る可能性がある。費用対効果よりも、住民サービスの向上を第一義的に考え、コンビニ交付導入に踏み切る必要がある。

☆学校二学期制について
☆学校トイレの洋式化の進捗について

平成30年第4回定期会 一般質問（12月1日） チェック！

人口減少時代のまちづくりについて

Q 地方創生の改定によりKPIの中に地域運営組織の形成、3,000団体を目指すと掲げられる、人口減少や高齢化が著しい中山間地域において、地域運営組織が生まれ育った地域で暮らしたいという希望を実現するために欠かせないサービスを提供する役割を果すことが期待できるが、市はどうのに対応していくのか。



※KPIとは、Key Performance Indicator の略。組織やチームで設定した最終的な目標を達成するための過程を計測・評価する中間指標のこと。

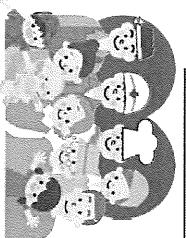
【横田の主張】

中山間地域の活性には地域の特性に応じたまちづくりが不可欠。それを効果的・効率的に行うために、地域が主体となった住民自治組織づくりと、それを行政が側面支援するパートナーシップ型の取り組みづくりを進めるべき。

【他の質問】

【横田の主張】

Q 多くの自治体で、孤独死を防ぐため、市民の意識啓発も兼ね、緊急通報に関する連絡先などを掲載したリーフレットを作成し、配布をしています。本市でも同様の取り組みができるのか、その見解と配布についての考え方を伺いたい。

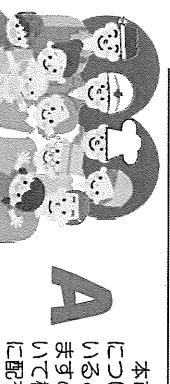


A 本市では、先ほどお答えいたしましたが、高齢者見守りネットワークについてのチラシの作成や、広報やホームページ等にて周知を図っています。しかし、さらなる周知が必要と考えておりますので、連絡先等の記載されたより詳細よりリーフレットの作成について検討してまいります。リーフレットの配布につきましても全世帯に配布できればと考えております。

☆住民票等証明書のコンビニ交付の導入について

平成31年第1回定期会 一般質問（3月1日） チェック！

高齢者、障がい者、困難を抱えた若い世代の見守りについて



Q 誰もが人とのつながりを持ちながら、生涯にわたって生き生きと生活、活動することができる地域社会を構築するために、行政、市民、地域とが協働して福祉の充実に取り組む、予防型のコミュニティづくりを進めるべき。

☆企業誘致について
☆企業誘致について